

# 地学協働

北海道の地域と学校の連携・協働を応援する広報誌 No. 45

## TOPIC

1. 地域運営組織とCSの連携可能性
2. 第1回放課後活動推進協議会
3. 子どもの読書活動推進コーナー

# 6月

## 1 地域運営組織（RMO）と学校運営協議会の連携可能性

持続可能な活力ある地域社会の実現に向けては、地域住民を核としつつ、行政、企業、大学、NPO など様々な主体がそれぞれの得意分野を生かしながら相互に連携・協働して取り組むことが重要です。

特に、地域の主体性を活かした地域づくりのための取組として、北海道（総合政策部）では、**地域運営組織（RMO）**、道教委においては、**コミュニティ・スクール**、**地域学校協働活動**、**社会教育人材の育成**等を推進してきたところです。以上の施策は、その目的や対象において、相互に高い親和性を有しています。

以下では、地域づくりに資する地域運営組織と、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の連携可能性について、紹介します。

### 「地域運営組織（RMO）」とは？

「**地域運営組織（RMO：Region Management Organization）**」とは、地域で暮らす人々を中心に、自治会・町内会、民生委員・児童委員、消防団、NPO、地元企業、社会福祉協議会、PTA 等の多様な関係主体が参画し、協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を行う組織です。

現在、北海道内で148の地域運営組織（RMO）が形成されています。

▼全国の地域運営組織数はコチラ▼

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001065298.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001065298.pdf)

### 【活動内容（例）】

- ・移動スーパーの運営等による買い物支援
- ・コミュニティバスや送迎活動等の外出支援
- ・見守り活動
- ・防災活動
- ・地域行事や交流事業の実施



### ポイント

**地域づくりを担う人材の受け皿としての機能や、学校、社会教育施設、福祉、防災等の分野を横断した取組を展開するためのインフラとしての役割が期待されています。**

自治会や町内会、民生委員や消防団などが構成員として多く上げられ、**多様な世代の多様な主体が参加**しています。



※「ご存じですか？地域の暮らしを支える地域運営組織[RMO]（総務省）」より抜粋  
([https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001023276.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001023276.pdf))

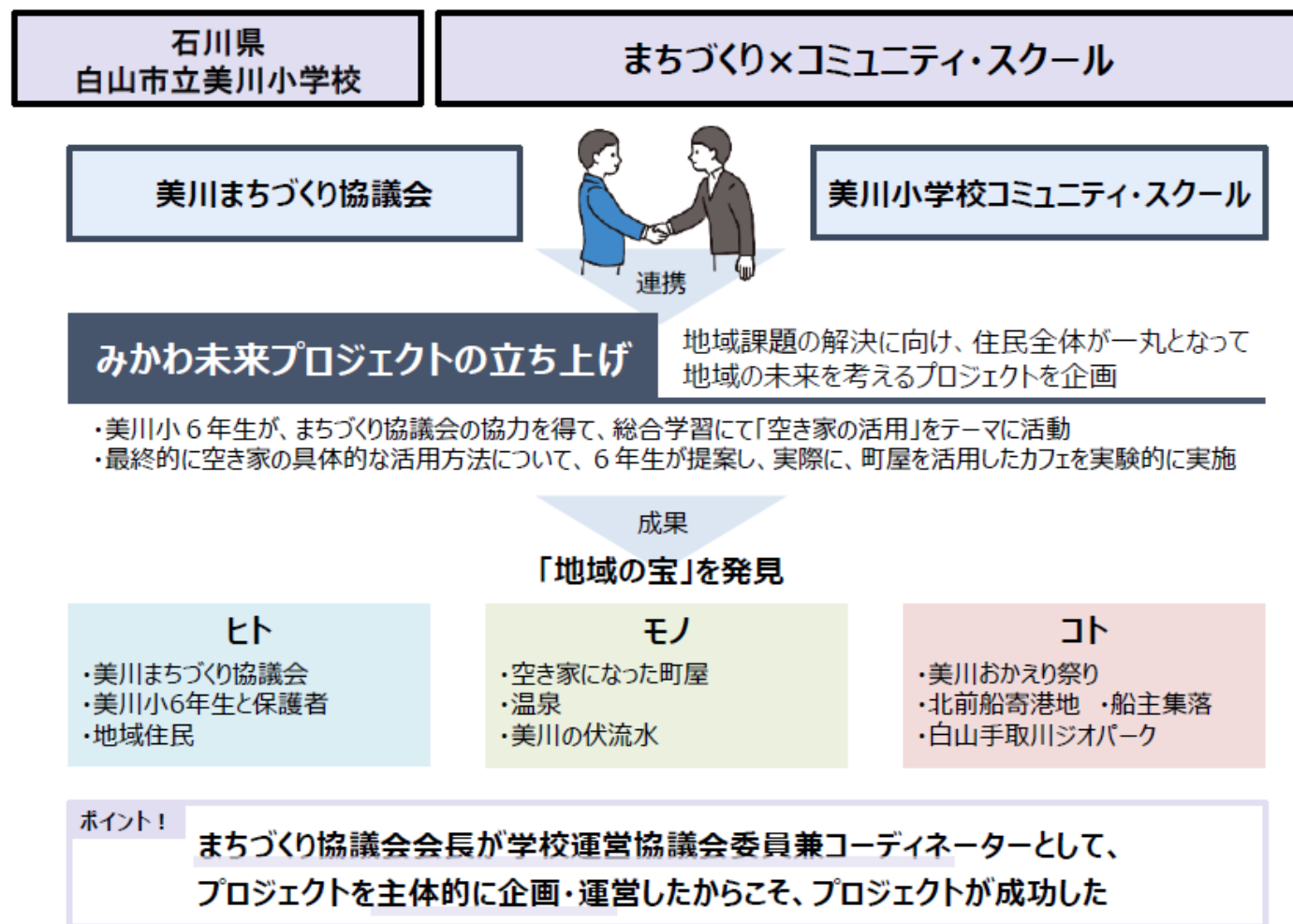
北海道総合政策部地域創生局地域政策課では、北海道地域運営セミナー2026「地域運営組織のつくりにかた・育てかた」を開催しており、当日のセミナー動画を公開しています。

（セミナー動画はコチラから▶：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/246650.html>）

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進は、学校と地域が連携・協働して子どもたちの成長を支えることで、自立的・継続的に子どもを取り巻く課題を解決できる地域社会の実現を目指すものです。また、将来的な地域の担い手育成の観点からも、学校教育と地域との連携は有意義であり、地域の文化、自然、産業等の地域資源を活かした探究学習の充実を図ることで、子どもたちの主体性が育まれ、地域への愛着・帰属意識が醸成されていくことも期待されます。

学校を核とした地域づくりのさらなる推進のため、例えば、**学校運営協議会と地域運営組織（RMO）が連携**したり、**地域おこし協力隊や集落支援員が学校において地域学校協働活動推進員等と共に地域との連絡調整等の役割を担ったりする**といった取組が考えられます。

## 地域運営組織とコミュニティ・スクール・地域学校協働活動との連携事例



※「地域づくりに資する関連施策の一体的推進について（総行地第46号、8教地推第37号、令和8年5月28日）」別添資料より抜粋

令和7年11月8日（土）に宮城県仙台市で開催された「全国コミュニティ・スクール研究大会in 仙台」においても、行政説明「**地域運営組織（RMO）とCS・地域学校協働活動との連携について**」の中で、白山市立美川小学校の事例が取り上げられています。

### ▼当日資料▼

[https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/sendai\\_forum\\_shiryou02.pdf](https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/sendai_forum_shiryou02.pdf)

総務省では地域運営組織（RMO）について、わかりやすく紹介した動画を作成しています！

▶ PR動画はこちら

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/chiiki\\_unneisosiki.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/chiiki_unneisosiki.html)



※「ご存じですか？地域の暮らしを支える地域運営組織【RMO】（総務省）」より抜粋  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001023276.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001023276.pdf)

# 2 第1回放課後活動推進協議会（理論編）開催報告

開催日：令和8年（2026年）5月22日（金）  
主 管：生涯学習推進局社会教育課  
子ども政策局子ども政策企画課  
開催地：北海道立生涯学習推進センター（配信）  
参加者：415名  
※内訳：右記表のとおり。

（参加者内訳）

| 放課後児童クラブ支援員・補助員 | 放課後子供教室支援員・サポーター |
|-----------------|------------------|
| 304名            | 47名              |
| 地域学校協働活動推進員等    | 行政職員その他          |
| 9名              | 55名              |

道教委では、令和2年度から放課後活動推進協議会を開催し、放課後や休日などにおける子どもの活動拠点づくりに関わる方々（地域学校協働活動推進委員、地域コーディネーター、放課後児童支援員、教育活動サポーター、行政職員）に、子どもへの活動支援の在り方を含めた専門的な講義や演習等を行っています。今回は、理論編としてオンラインで実施した協議会を紹介します。

**講 義：子どもたちが安心・安全に放課後の時間を過ごすための環境づくりと安全管理**  
**講 師：NPO法人LIFE terrasse 放課後等デイサービスなないろKIDS 所長 齊藤 幹夫 氏**

本協議会では、児童養護施設や児童自立支援施設等の豊富な現場経験を経て、現職で活躍されている齊藤幹夫氏に、子どもたちが安心・安全に放課後の時間を過ごすための環境づくりと安全管理について、実際の事例を交えながら講義をいただきました。



**【講義レジュメ】（一部抜粋）**

- ・ 特性のある子どもへの支援と環境調整
- ・ 支援者の困りごと
- ・ 何を教えるか？
- ・ 子どもに獲得してほしい5つのスキル
- ・ 問題行動と課題行動
- ・ 安心・安全の土台を作る「環境と人」
- ・ なぜ「特定の大人（キーパーソン）」が必要か？
- ・ 「落ち着いた環境」の3要素

などなど

**【参加者の声】**

- ・ 切り替えが苦手な子には、カウントダウンをしたり、タイマーを見せたりすることで、次の活動にスムーズに行くことができるなど、たくさんのためになることを学べました。
- ・ 研修を受けたその日のうちに、何も考えず暴言を吐いた子に対して適切なことばを伝えてみました。すぐに正しい言葉に置き換えてくれました。
- ・ 所属する学童クラブや子どもたちの姿に重ねながら頷くことが多く、適切な関わり方について学ぶことができました。キーパーソンとしての役割の話では緊張が走る思いです。

## 第2回放課後活動推進協議会（演習編）の開催日程 ※会場参集

|      | 開催日<br>（会場所在地）    | 主管局   | 申込期限                                  |
|------|-------------------|-------|---------------------------------------|
| 道央会場 | 7月8日（水）<br>（岩見沢市） | 空知教育局 | ※受付終了                                 |
| 道南会場 | 7月1日（水）<br>（函館市）  | 渡島教育局 | ※受付終了                                 |
| 道北会場 | 7月15日（水）<br>（稚内市） | 宗谷教育局 | 7月1日（水）17:00                          |
| 道東会場 | 9月7日（月）<br>（帯広市）  | 十勝教育局 | 8月21日（金）17:30<br>※7月20日（月）9:00～申込受付開始 |

開催情報は  
こちらで  
チェック！



社会教育課では、地学協働の推進とともに、子どもの読書活動の推進に関することについても取り組んでいます。今号は、道内の2管内から、学校図書館の好事例を紹介します。

## 【渡島管内】 地域とともにある学校図書館（七飯町立七重小学校）



装飾で居心地のよい空間に

### 学校支援ボランティアによる環境整備

七重小学校では、学校支援ボランティア「ハッピー七小サポーターズ」の方々が活動しており、学校図書館の運営も支援していただいています。図書委員の子どもたちと協力して蔵書の整理を行うほか、おすすめ図書の展示レイアウトや、季節に応じた装飾を施すことで学校図書館の環境を整備し、「教室が1番なら、学校図書館は“学校で2番目に好きな場所”」と思えるような、居心地の良い場づくりに取り組んでいます。

### 地域に開かれた学校図書館

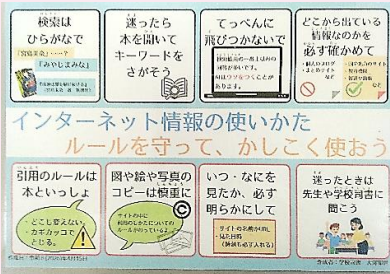
ハッピー七小サポーターズの協力の下、夏休みと冬休みには「図書室開放」が行われ、読書や学習を目的に多くの児童が学校図書館を訪れます。開放日には、児童の保護者や未就学児も学校図書館を利用でき、七飯町で活動する「読み聞かせサークル『ぴよ〜ん』」による絵本の読み聞かせが行われるなど、地域一般に開かれた学校図書館の実現に向けて動き始めています。

「図書室開放」が地域全体に読書の輪を広げる取組になっています。



「図書室開放」での読み聞かせの様子

## 【オホーツク管内】 自立した学習者が育つ学校図書館（北見市立南小学校）



作成者：北見市教委 学校司書 大澤知世さん

### 学び方を身に付ける情報活用の拠点

北見市立南小学校では、北見市立図書館の協力のもと、学校図書館を本を読むだけではなく、自分で学ぶ力を身に付けるための中核施設として、「調べて、学んで、くつろげるスペース」に整備しました。各テーブルにはインターネットの検索方法や引用の仕方を掲示して自己学習を支援しています。さらに教職員が出張や旅行等で訪れた全道各地の地域資料を収集して配置し、子どもたちの調べ学習等に役立てています。

### 学びと成長を支える居場所づくり

南小学校の学校図書館は、いつでも、どの子どもにも開かれた「学びと成長のセーフティネット」としての役割も担っています。また、南小学校では学校司書と学校図書館専門の事務職員を配置し、学校図書館に大人がいる時間を増やすことで、一時的に学級になじめない子どもが、自分で課題を設定し自分のペースで勉強する居場所としての利用も可能にしています。

3回借りるとおみくじが引ける子ども向けのイベントや、図書委員の図書業務やレファレンス能力を段階的に高める「図書委員会メンバーグレード制度」など、子どもたちが楽しく学校図書館を利用できる仕掛けが多くあり、休み時間は子どもたちで賑わっています。



休み時間の学校図書館の様子

題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

（公益社団法人 北海道観光機構）のフォトライブラリーから御提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>

